

写真：浅野敦



西宮には、人形操りの祖神が祀られている百太夫神社が西宮神社の境内にあります。西宮と深い縁(ゆかり)のある文楽人形を、手に取って、操ってみませんか？世界に知られる伝統芸能『文楽』の世界へさあ、ごいっしょに！



文楽人形

解説と体験ワークショップ

「文楽人形師 大江巳之助」 お話・吉田和生

実演鑑賞『お染のくどき』

司会進行：橋高邦子



文楽人形師：大江巳之助
(写真提供：村尾愉)



吉田和生(人間国宝)



吉田和馬



吉田和登

2024年

12/23(月)

14:00開演(13:30開場)

西宮市民会館 1階大会議室101

定員100名
全席自由席

一般 **2000円** / アミティ友の会・U29 (29歳以下) **1500円** (各消費税込)

当日各500円増 ※前売り完売の場合、当日券は販売しません。

※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※U29は29歳以下の方のみお求めいただけます。

※アミティ友の会・U29のチケットをお求めの際は窓口にて購入時に証明書(会員証、学生証等)をご提示ください。

アミティ友の会先行販売 ▶ 窓口 10月18日(金) 10時~ / 一般販売 ▶ 窓口・イープラス 10月25日(金) 10時~



公益財団法人 西宮市文化振興財団

主催・問合せ：(公財)西宮市文化振興財団 0798-33-3146(平日9:00~17:30)

企画制作：(一財)日本伝統芸術文化財団 協力：関西舞台(株)

チケット取扱所

西宮市民会館 (9:00~17:00 火曜休館) 0798-33-3111

イープラス / <https://eplus.jp/> (一般のみ) ご購入はこちらから



きて、みて、さわって、 文楽人形



人間の魂がのりうつったかのような人形…
感情豊かに語る浄瑠璃…
心の底にしみわたる太棹の響き…
西宮は文楽の源流『くぐつ師』発祥の地。
世界に知られる伝統芸能『文楽』の世界へ
さあ、ごいっしょに！

プログラム



- 解説と体験ワークショップ
表情豊かな文楽人形について、体験ワークショップを交えながら技芸員が徹底解説します。
- 「文楽人形師 大江巳之助」お話・吉田和生
現存する人形の首(かしら)の殆どの制作を手がけた大江巳之助氏について人間国宝の吉田和生さんにお話を伺います。
- 実演鑑賞「お染のくどき」
「新版歌祭文ー野崎村の段ー」より、名場面の実演をお楽しみください。

文楽人形と大江巳之助

大江巳之助は、1907(明治40)年に徳島県鳴門市で生まれました。家は、三代続いて人形浄瑠璃芝居の人形の首(かしら)を作ってきました。1930(昭和5)年に大阪文楽座に入り、同年、四代目巳之助を襲名しました。

大江巳之助は人形遣いの名人吉田文五郎から指導を受けて文楽人形作りに精進しました。戦後、戦災でほとんど焼失してしまった首の制作を一手に引き受け、現在、文楽にて用いられる人形の首の大部分は、大江巳之助の作品です。



(写真提供：村尾愉)

出演者紹介

よしだ かずお (人間国宝) 吉田和生 人形浄瑠璃文楽座・人形

昭和42年、文楽協会人形部研究生となる。同年、吉田文雀に入門、吉田和生と名のり、大阪毎日ホールにて初舞台。平成29年10月、重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定される。昭和55年度因協会奨励賞、昭和61年度因協会奨励賞、平成2年度文楽協会賞、第11回国立劇場文楽賞文楽奨励賞、平成11年度因協会賞、平成15年度大阪文化祭賞、第25回国立劇場文楽賞文楽優秀賞、第64回芸術選奨文部科学大臣賞、平成26年、愛顔(えがお)のえひめ文化・スポーツ賞、第34回国立劇場文楽賞文楽大賞、平成29年度兵庫県文化賞(伝統芸能)、平成29年、第30回関西・こころの賞(特別賞)、第53回大阪市市民表彰、令和元年5月、旭日小綬章文化財保護功労、令和元年度大阪文化財省〈第一部門〉等多数受賞。



よしだ かずま 吉田和馬 人形浄瑠璃文楽座・人形

平成22年、吉田文雀に入門し、文楽協会研究生となる。翌年、吉田和馬と名のり、国立文楽劇場にて初舞台。平成26年度文楽協会賞、令和元年度大阪文化祭賞〈第一部門〉受賞。



よしだ かずと 吉田和登 人形浄瑠璃文楽座・人形

平成27年、国立劇場文楽第27期研修生となる。平成29年、吉田和生に入門、吉田和登と名のり、国立文楽劇場にて初舞台。令和元年度大阪文化祭賞〈第一部門〉受賞。

